

仲間と共に学んだ6年間

6年2組



6年2組では、切り絵の学習を続けてきました。6月の第1回目の切り絵教室では、切り絵作家の柳沢京子先生に教わりながら切り絵の楽しさと難しさを感じました。「自分のデザインを切り絵にしたい」という願いから一人一人のデザインを切り絵の作品にしました。活動が続けてきた子どもたちは、「クラスで大きな作品にも取り組んでみたい」、「6年間の思い出を絵にしたい」、「もっと難しい切り絵に挑戦したい」と、思いを膨らめていきました。そのような子どもたちの願いに、「みなさんなら大行灯を手がけてもいいのでは」と柳沢京子先生から長野灯明祭りの大行灯への出展の話をしていただきました。11月に入り、6年間の思い出を絵に表したり、そのイラストを集めてコラージュ技法を使ったりしながらデザインしていきました。テーマは「仲間と共に学んだ6年間」です。こうして、6年間の思い出を、この仲間と刻んでいきました。

切り絵の共同制作活動が終え、出展した日。Yさんの学習ノートには切り絵から学んだことが書かれていました。

「私は、切り絵を通して集中力や切り絵の本当の楽しさが分かった気がします。切り絵の学習ではたくさん集中したと思います。大行灯では人の作品を傷付けないように丁寧にやったり、作品に込められた思いを自分だけの作品ではないけれど、みんなの作品として仕上げた楽しさも感じました。私たちの作品から出る光を早く見てみたいです。そのわくわくも感じます。これから善光寺や長野駅にかけてたくさんの光が並びます。たくさんのお客さんにみてもらえることがとても楽しみです。作品に込めた願いや思いや思い出をみてくれた方に感じてもらいたいです。」

子どもたちがデザインした絵には、この仲間たちと過ごした日々の思い出が詰まっていました。一つ一つの思い出が、一人一人の手によって浮き彫りになっていく切り絵。懐かしい思い出を仲間と共にふり返ることができた時間でした。

卒業を迎える6年生にとって、この切り絵の共同制作は「6年間の学びをたどり直す時間」でもありました。動物の命に向き合い続けたこと。社会科で取り組んだ、学校林「花咲き鳥歌う森」の更新伐採作業。そして、学年の仲間と精一杯を尽くした飯縄山登山、谷浜鍛錬会。こうして生まれたこの大行灯は、子どもたちが、この学校で過ごした精一杯の日々の証です。いよいよ卒業を迎えます。

作品テーマ「仲間と共に学んだ6年間」



切り絵(6年2組クラス共同制作)
～2020長野灯明祭り 大行灯の部 出展作品～